



第61号

2024年3月31日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり  
協議会

地域コミュニティ情報サイト「さぎ山の広場」では、掲載情報を募集しています！  
地域の出来事、募集情報等があれば [sagiyama.machikyoun@gmail.com](mailto:sagiyama.machikyoun@gmail.com) にご連絡ください。



二十歳のつどいの写真は、左上QRコードからご覧いただけます。

### 鷺山校区 二十歳のつどい 謝辞

本日は、私たちの人生の節目にあたって、このよ  
うな会を開いて頂き、誠にありがとうございます。  
また、本日ご来賓の方々、自治会長様、多くの方々  
より励ましの言葉を賜りまして、平成27年度卒業生  
を代表し、心より感謝申し上げます。

今までの20年間を振り返ると、嬉しいことや悲し  
いこと、時には辛い思いをしたことなど、たくさん  
の出来事が思い出されます。それらを乗り越えて成  
長することができたのは、いつも私たちを支え、見  
守り、励ましてくれた家族、友人、地域の皆様のお  
かげだと大変感謝しております。私たちは現在、学  
生として勉学に励む者や社会人として働く者など立  
場は様々ですが、それぞれ充実した人生を歩んでい  
ることと思います。様々な制限が解除され、かつて  
の暮らしが戻りつつある今、初めての経験に戸惑い  
ながらも努力を積み重ねています。この先どのよう  
な困難に直面しようとも、この地で培った知識や経  
験を糧に、責任ある大人としての自覚をもち、社会  
に貢献していきます。

最後になりますが、これまでの20年間を見守り、  
支えてくださった家族、諸先生方、また本日の式典  
を開催してくださった自治会の皆様に改めて感謝申  
し上げると共に、引き続きご指導ご鞭撻を賜ります  
ようお願い申し上げます、謝辞とさせていただきます。

令和六年一月七日 参加者代表 大洞 栄貴





あいさつ運動を  
始めました  
会長 小森 健司

「おはようございます」「行ってらっしゃい。今日もがんばってね」私たち鷺山青少年育成市民会議では、「地域づくり」の基本である「人と人のつながりづくり」のために、日々のあいさつはとても大切だと考えています。そこで、「鷺山あいさつの輪・和・環」を合言葉とし、さわやかなあいさつがあふれる地域をめざして、7月・12月・3月の3回にわたり、自治会連合会や地域の各種団体の皆さんと共に、鷺山小学校のあいさつ運動に参加してきました。

「挨拶」の語源は、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深淺を試すことを「一挨拶(いちあいいつさ)」

ということにあります。「挨拶」の文字には「押して開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」の文字には「迫る」「すり寄る」という意味があります。まさに、あいさつを交わすことで相手との距離を縮め、あいさつをする側もされる側も心を開き、良好な人間関係を築くことができるのです。

また、あいさつを通じた人と人のつながりづくりには、次の3つのステップがあるとされています。まずは、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と大人が自分からあいさつを交わすこと。次に、「元気なあいさつがすばらしいよ」「笑顔が素敵だね」「礼儀正しい姿がさすがだね」と良さやすばらしさをほめてあげること。そして、「今日は何が楽しかった?」「給食はおいしかった?」と積極的に関わる言葉をかけることです。そうすることで、「私たち大人は、あなたたちのことを大切に思っ



ているよ」「あなたが困った時には、いつでも助けることができるよ」というサインを送ることが出来ます。このような心と心をつなぐ魔法の言葉である「あいさつ」を、日々の暮らしの中で鷺山の地域に広めていきたいものです。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、鷺山青少年育成市民会議の活動も本格的になつてきました。乳幼児を対象とした「親子ふれあい教室」や「さぎっ子くらぶ」では、子育て中の親子の皆さんが積極的に交流して仲を深めることができたようです。

高校生・大学生による「鷺山まちづくり活動グループ」の皆さんは、「鷺山夏祭り大会」や「二十歳のつどい」などで、地域の担い手とし



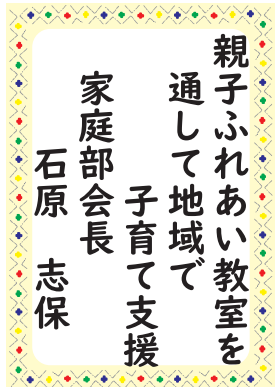
て大活躍をしました。また、小・中学生の皆さんは、「鷺山夏祭り大会」や「鷺山校区市民大運動会」などの地域活動に積極的に参加し、地域住民の皆さんと共に楽しむことができました。さらに、中学生の皆さんは、地域行事をボランティアとして支え、多くの生徒の皆さんが人の役に立つ喜びを感じてくれたようです。

さらに、鷺山小学校の学校園有効活用プロジェクト「ミニトマト栽培」では、子ども達が野菜作りに親しみ生命尊重の心を育みました。青山中学校の「中学生からのハローワーク」に参加し、生徒にボランティア活動の意義や良さを伝えることができました。

鷺山校区にお住まいの0歳児の子育てに奮闘中の12組25名の親子の皆さんが参加されました。

**第1回 「親子でふれあい遊び」**  
**第2回 「乳幼児の救命講習」**  
**第3回 「さぎ木遊館で遊ぼう」**  
**第4回 「クリスマス会」**

第1回及び第4回は、鷺山保育所の先生による、大きなミッキーマウスの人形を使った親子でスキンシップを楽しむ体操や、パネルシアター、大きな絵本に子



親子ふれあい教室を通して地域で  
子育て支援  
家庭部会長 石原 志保

今年も鷺山青少年育成市民会議、岐阜市社会福祉協議会鷺山支部共催で「親子ふれあい教室」が開催されました。

鷺山に住む青少年が、日々安心して自分らしく過ごすことができるように、これからも精一杯努めてまいります。地域住民の皆様には、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

みんなで広げよう！鷺山あいさつの輪・和・環



鷺山の子ども達に、素敵なあいさつを届けよう！

ども達は夢中でした。また牛乳パックを利用した鈴の音の鳴るボールを手作りしました。

第2回は、岐阜北消防署の署員を講師に招き、乳幼児の救命講習を行いました。乳幼児に対する胸骨圧迫による心肺蘇生の方法や、AEDを使用し大人用と乳幼児用の電圧の切り替えボタンの操作方法について学びました。

第3回は、学園町にある「ぎふ木遊館」で開催しました。まるで森の中にいるような施設で木の温もりに触れながら様々なおもちゃで思いっきり遊ぶことができました。

今後、このような活動をしながら地域全体で0歳児の子育てに奮闘中のお母さんやお父さんのお力になればと思っております。



鷺山まちづくり活動グループを通して 青年育成部会長 堤 崇

青年育成部会では、本年度高校生以上の28名のまちづくり活動グループメンバーで活動を行いました。毎月第一日曜日にまちづくり活動室に集まり、11回の定期活動、研修活動を行いました。鷺山夏祭り大会では、ポスター制作や、当日の準備、後片付け、露店販売にも参加しました。二十歳のついででは、会場設営や音響担当、メッセージポスター等の制作展示も行いました。高齢者の方を対象にし



た「ふれあい・いきいきサロン」では、ご高齢の方に耳なじみのある歌をコーラスや、楽器で演奏させていただきました。また、お茶とお茶請けでおもてなしをし、交流を楽しむことが出来ました。

グループでは、毎年活動目標を設けて、今の時代に必要なまちづくり活動を行うことが、地域貢献・社会貢献の一つであることを意識しながら、一人一人の成長に繋げていきます。

スポーツ少年団も 頑張っています！ 少年部会 牧浦 英子

鷺山スポーツ少年団には、野球・バレーボール・バスケットボールの3団体が所属しています。日々の練習はもちろんのこと、各団体会に出場したり、練習試合をしたりと、土日を中心に忙しく活動をしています。暑い夏も寒い冬も仲間と共に努力している子ども達の様子を見てみると、スポーツを通して日々成長していることを実感します。ぜひ多くの方に参加していただきたいと思えます。少年部会は、通常は各ス

ポーツ少年団での活動に取り組んでいます。が、本年度は少年部会として鷺山夏祭り大会に参加させていただきました。



社会環境部会の活動を通して 社会環境部会長 矢上 貴夫

私が社会環境部会の活動に携わり3年が経過しようとしています。最初は、右も左も分からない活動ではありましたが、地域の子ども達を見守る活動は、犯罪

が増えている今の時代には、大切だと思えます。学校や地域の大人たちが見守り、非行や犯罪に手を染めない、遭わないためにも、必要な活動であることは間違いありません。

しかしながら、近年のトラブルは、ネットトラブルが多くなっており、我々が校区内の巡回パトロールをしても、なかなか発見できないものはありません。時代と共に、社会環境部会の活動も変化が必要だと考えます。鷺山校区内には、青少年にとつて好ましくない場所や建物は、あまりありませんので、実際に巡回パトロールをして注意するようないから行なうこともありません。ただ、全くゼロかというと、そうではありません。さぎしも公園には、タバコの吸い殻が多く残っていたりして、人の跡は残されています。人の目の付きにくい時間帯に隠れて吸っているのではないかと思われます。このような情報を発することにより、一人でも犯罪や非行に走らないように地域の大人たちが見守っていきましょう。最後に、ネットトラブルに子ども達が巻き込まれないようにするた



家庭教育啓発市民運動

「決めて、守ろう！」

『我が家のルール』

皆さんの家にも我が家のルールありますか？



日頃は、鷺山校区子ども会育成会および、インリーダーの活動に関しまして、あたたかく見守ってくださいありがとうございます。今年度のインリーダーの主な活動として、鷺山で採れた野菜を具材にした「鷺山パン」の販売を始め、さまざまな地域の行事に参加させていただきますました。鷺山校区文化祭での鷺山パンの販売では、さつまいもをメイン具材にしたパンを、お

**インリーダー活動を通して**  
**子ども育成部会**  
**長屋 幸知**

への情報モラル教育が非常に大切です。某回転寿司チェーン店で起きたようなネットにアップした不用意な動画が大事件になってしまいうようなことにならないように、しっかりと情報モラル教育をしていきましょう。



た野菜を具材にした「鷺山パン」の販売を始め、さまざまな地域の行事に参加させていただきますました。鷺山校区文化祭での鷺山パンの販売では、さつまいもをメイン具材にしたパンを、お



んさい広場 きらきら工房の協力のもと、製作しました。具材となるさつまいもはJAぎふ鷺山支店の協力です。子ども達が苗植えから途中のお世話、収穫まで行いました。パンは米粉を使用しました『もちもち食感』。用意した200個の鷺山パンは、あつという間に完売しました。来年度も今年度の活動を基にブラッシュアップしながら、地域に貢献できるような活躍の場を広げていきたいと思えます。今後とも鷺山校区子ども会育成会、インリーダー生をどうぞよろしくお願いいたします。



子育て支援部会は、未就園児の親子を対象に『さぎつ子くらぶ』というサークルを、8月を除き毎月第2木曜日午前10時から、鷺山子ども館(現在は、改築中のため正木公民館で開催しています。1時間程ではありませんが0〜3歳の子と、子育ては初めての第1子の子さんと第2子・第3子の子育て経験者の親さんが情報交換をされています。親との同居は少ないものの近くにいらつしやる方もみえれば、岐阜は初めてで

**さぎつ子くらぶに**  
**参加しませんか**  
**子育て支援部会**  
**尾藤 ひとみ**



知り合いがいらつしやる方もみえます。そのような方が同じ歳の子ども達を通して知り合い、交流ができる場所になればと活動しています。季節行事に合わせた内容や鷺山保育所・日光児童センターの先生に来て頂いたり、鷺山校区老人クラブ連合会の方と交流したり、JAぎふ鷺山支店でのさつまいも収穫等地域の方々と一緒に活動しています。







第62回 鷺山校区 市民大運動会

令和5年10月8日(日)に岐阜市立鷺山小学校グラウンドにて、鷺山校区市民大運動会が開催されました。昨年度は引き続き、地区対抗種目は行わず、個人参加者のエントリーが中心となる開催方法で執り行われました。最初に、全国ラジオ体操連盟公式ラジオ体操指導員の山内香織さんの指導によるラジオ体操からスタートです。全身の筋肉をほぐして競技の際にけがをしないように準備体操もしっかりと行いました。その後、鷺山小学校児童や青山中学校生徒による障害物競走が



行われました。様々な障害物をクリアしながら、ゴールを目指して全力で駆け抜けていきました。その後、親子ボール運びやパン食い競争、おやつ競争など、楽しみながら取り組める競技が続々と実施されました。楽しそうに笑顔が浮かべながら走って行く小学生、日頃見せないような必死な様子の子の大人達がグラウンドを駆けていきました。



また、今年の競技では、玉入れのカゴが動く『動く白玉入れ』という競技が新たに用意され、体育振興会のメンバーが玉入れのカゴを背負って動く中、参加者が紅白の玉を入れていくという競技に挑戦しました。多くの玉を入れていきまし



競技の最後には、恒例の各種団体リレーです。鷺山自治会連合会、鷺山体育振興会、鷺山水防団、岐阜市北消防団鷺山分団、鷺山小学校PTA、鷺山スポーツ少年団、鷺山青少年育成市民会議の皆さんが、様々なアトラクションに挑戦しながらメドレーリレーに挑戦しました。アンカーの仮装による競争は会場を大きく沸かせました。鷺山校区市民大運動会のフィナーレを飾ったのは、鷺山小学校の『ダンス』です。小学生、中学生をはじめ、小学校の卒業生の保護者や地域住民が一緒に楽しみました。若男女多くの皆さんが、鷺山小学校のグラウンドに集い、様々な競技に取り組み

ながら、楽しい交流をすることができました。準備・運営に携わってくださった鷺山体育振興会や鷺山自治会連合会の皆さん、お疲れ様でした。また、運営ボランティアとして参加してくれた青山中学校の生徒の皆さん、ありがとうございます。まちづくり活動に様々な場面で参加してくれることを願っています。



鷺山から宇宙へ 鷺山小学校OB 川島 桜也さん (宇宙航空研究開発機構) 講演会

令和6年1月25日(木)に、鷺山小学校にて、岐阜市立鷺山小学校のOBで現在は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の職員である川島 桜也さんと『鷺山から宇宙へ』と題して、講演を頂きました。体育館には、小学校4年生、6年生の児童が集まり、JAXAが取り組んでいる日本の宇宙開発の話について、わかりやすくお話を頂きました。報道でも話があった月面着陸を行った『SLIM』のピンポイント着陸に成功したこ



令和16年(2034年)には、織田 信長公 生誕500年



令和17年(2035年)には、濃姫 生誕500年を迎えます。鷺山の活性化に繋がっていきましょう！

とや、宇宙の謎を解き明かすため太陽系を周回している彗星への着陸、調査を行うことの重要性、月や火星といった衛星や惑星への着陸にむけて研究が進められていることについてお話頂きました。

また、宇宙の仕事に就くまでの学生時代の過ごし方にも触れてもらい、自分自身の抱いていた夢自体が変わってきたことや、夢を叶えるために大切にして欲しいことを児童の皆さんに伝えてくれました。

・ **いっぱい友達と遊んで、いろいろな経験を自分で分の好きなことを見つけ**  
・ **たくさん勉強することで自分自身の可能性が広がること**  
・ **お父さんやお母さんの手伝いをする**

など、子ども達にもわかりやすく、身近な事例を上げてもらいながら夢を叶えるために必要なポイントについてもお話を頂きました。児童からの質問タイムが設けられ、多くの児童の皆さんが挙手をし、質問を投げかけてくれました。宇宙服はどのようなのですか？ロケットを飛ばすにはどれぐらいかかるのか？など、本当に多くの質問を頂き、その質問に川島さんから丁寧な回答を頂きました。



た。講演会最後には、6年生児童4名が代表して講演を頂いたお礼の挨拶がありました。川島 桜也さんは、今年から3年間アメリカのNASAで勤務される予定です。児童からはNASAから戻ってきたらまたお話を聞きたいとリクエストがありました。いざいざ、鷺山小学校に足を運んでくれる日が来ることを楽しみにして待つていたいと思います。NASAに行かれます。素晴らしい宇宙開発の研究に取り組みられることを祈念いたします。



「イルカの親子」、森瀬 光さんの「涼しげな花火」が選出されました。

**竹灯笼が照らす まちづくり 人の和を！**

令和5年12月10日(日)に、マーサ21ショッピングセンター マーサスクエアにて、第3回竹灯笼グランプリ表彰式が執り行われました。竹灯笼グランプリにエントリーされた18作品の竹灯笼が順番に紹介され、どの作品も丁寧に作られた美しい作品でした。その中から、竹灯笼グランプリには、大杉 真夕さんの「イルカのジャンプ」、準グランプリには、池田 詩帆さんの「イルカの親子」、森瀬 光さんの「涼しげな花火」が選出されました。



作に取り組みました。竹に描かれた金華山の尾根筋、金華山にそびえる岐阜城、長良川の水面、鵜飼いの船や篝火が光って栄えるようにインパクトドライバ

青山中学校美術部と共に 作品作りに挑戦 令和5年12月16日(土)に、青山中学校にて、青山中学校美術部の皆さんが竹灯笼の作品の製作に取り組みました。製作には、鷺山まちづくり協議会のメンバーがレクチャーを行いました。製作した作品は、令和6年1月20日(土)岐阜公園にて開催された『ぎふ灯り物語』にて展示されました。鷺山小学校の児童が製作した竹灯笼とは異なり、複数の竹をつなげたキャンパスの中に金華山、長良川鵜飼いを描く大きな作品の製作に取り組みました。



これからも、多くの小学生、中学生、地域の皆さんと共に、手作りの竹灯笼の光を灯し続けていきたいと思えます。

岐阜公園の光の아트 ぎふ灯り物語2024 令和6年1月20日(土) 28日(日)に岐阜公園一帯にて、『ぎふ灯り物語2024』が開催され、鷺山小学校児童や青山中学校美術部生徒の皆さんが製作した竹灯笼の作品を展示しました。展示場所は、岐阜公園金華山ロープウェイ乗り場西側に位置する池の周辺です。日が沈んでからの状況を考えてながら、竹灯笼の作品を慎重に並べていきました。日没後18時以降には、竹灯笼の灯りも煌びやかに光り、美しい光景を映し出していました。



# 鷺山の新たなまちづくり拠点施設の概要

## 鷺山公民館・鷺山子ども館合築施設 及び 鷺山中洙公園 イメージ図

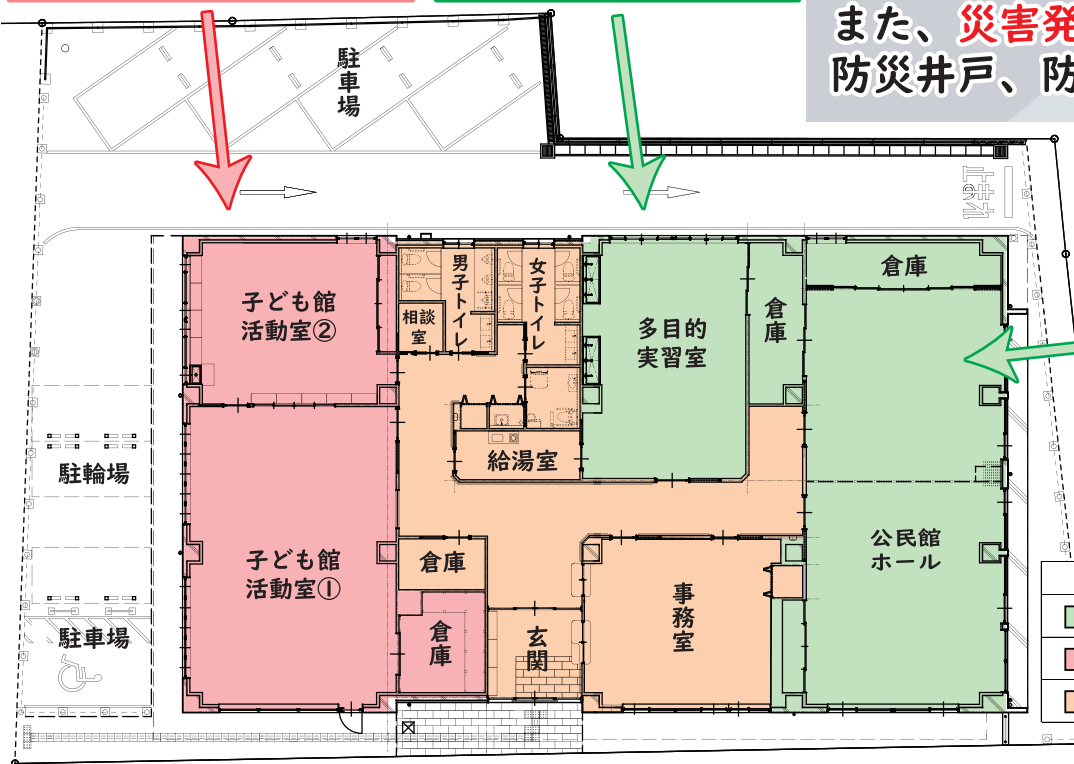


鷺山小学校児童アンケートで  
選ばれた複合遊具

鷺山中洙土地区画整理事業の実施に伴い、旧鷺山保育所があった場所周辺に、鷺山公民館・鷺山子ども館が合築された施設並びに鷺山中洙公園の整備が進められています。今後、鷺山の新たなまちづくり拠点として役割を担うことが期待されています。

鷺山子ども館エリアでは、読書や学習をしたり、ボール遊びをはじめ体をしっかりと動かして活動が出来るエリアになります。

書道、絵画、フラワーアレンジメントなど、水を使用する活動も取り組めるように工夫されています。



100名程度の来場者が利用出来るホールを備えパーティション等で分割し柔軟に利用できるように工夫されています。

凡例	
<span style="background-color: #c8e6c9; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	鷺山公民館関連エリア
<span style="background-color: #ffcdd2; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	鷺山子ども館関連エリア
<span style="background-color: #ffe0b2; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	玄関、廊下、トイレ等供用エリア



鷺山公民館・鷺山子ども館に隣接する公園は、施設の一体利用を視野に入れて、子ども達の遊び場としてだけでなく、健康遊具を導入し幅広い世代の地域住民の皆さんに利用してもらえるように工夫されています。  
また、災害発生時には、避難場所として活用するため、防災井戸、防災倉庫、ソーラー照明、非常電源なども備える予定です。



令和4年度には、鷺山公民館・鷺山子ども館合築施設の建設に向けたワークショップが開催され、設計案をとりまとめることができました。  
令和5年度は、引き続き、合築施設の西側に整備が予定されている鷺山中洙公園の整備に向けて、ワークショップを開催しました。  
この鷺山中洙公園は、合築施設との一体的利用を視野に入れて、連携のとれた整備が求められ、子どもたちの遊び場という視点だけでなく、子どもたち、防災時の避難場所、高齢者も集える活動の場としての視点も入れながら、意見交換を進めていきました。  
公園のシンボルとなる大型遊具については、鷺山小学校児童の投票によって選ばれました。  
今後、合築施設及び鷺山中洙公園が鷺山のまちづくりの拠点として、地域住民の集う場となるように、様々な取り組みを進めていきます！

鷺山中洙公園の整備に向けてワークショップを開催！



# 鷺山公民館だよりの

第95号  
発行

岐阜市鷺山公民館  
Tel 294-1665  
鷺山公民館にご用  
のある方は、月曜  
日～土曜日の午前  
9時～12時に来館  
や問合せをお願い  
します。



令和五年度

鷺山校区文化祭

鷺山公民館 館長

林 勝己

今年度は、開催予定だった「三世代交流 秋の祭典」が中止となり、鷺山公民館としては「三世代みんなであつくる秋の祭典」をテーマに単独での開催となりました。

新型コロナウイルス感染症が5類となり通常開催が出来るところでしたが、季節性インフルエンザの流行



で感染対策を最重点に置きながら安心・安全を心掛けた開催でした。鷺山小学校児童・青山中学校生徒の皆さん・鷺山保育所・ふぞく幼稚園、かぐや第二こども園のスイーパーヤング達の素晴らしい作品を祖父母、両親、友達等、多くの皆さんが見守ってくださっている姿が、とても微笑ましく思いました。

企画としては、例年と同様なものもあれば、新企画として体験型のキッズコーナーや防災講習・雑がみ回



収など例年より企画を拡大し、取り組みました。また、鷺山体育振興会のグラウンドゴルフ大会は、年々好評となり、どの企画にも多くの方に参加して頂きました。JAぎふ鷺山支店の方々は、今年も新鮮な野菜を提供して頂き、多くの方が大変喜んで頂くことが出来ました。フードコートでは、今年度も、鷺山パンやみたらし団子、蜜たつぷりの大学いもなど人気商品があり、販売開始早々に売り切れが出てしまし



た。それぞれの企画には多くのスタッフが関わって下さいました。各種団体・公民館クラブの方々、青山中学校生徒ボランティアの皆さんには、来場者の方々に丁寧に接して頂きありがとうございます。また、鷺山まちづくり協議会主催の竹灯籠グランプリでは、年々人気が高ま



投票された人は、作品の素晴らしさに感激されています。鷺山文化祭の開催内容も増々充実し、多くの方に参加して頂いていることを実感しています。

今年度の鷺山校区文化祭も盛大に開催することが出来、関わって頂いた全ての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



「避難用持ち出し袋」の準備はしていますか？また、準備をされている方も、中身の点検を行っていますか？



定期的な点検を行って、袋の中の物の見直しや、必要な物を準備しておきましょう。

公民館クラブ活動について  
総代表 霜田 英二

私がこちらで活動させて頂くと、鷺山公民館のクラブ活動では、以前から円空彫りや、展示活動をしてきたこと、鷺山校区文化祭で展示させて頂いたのがきっかけです。その後、鷺山公民館には、様々なクラブ活動があることを知り、その中で興味があった『水墨画』を始め、今から約10年前のことです。そして私が、公民館クラブの総代表をお引き受けしたのは25年前ですが、当時



舞台上で演芸が披露されていた頃の文化祭の様子

く皆さん活発に活動をしておられ、鷺山校区文化祭も今とは違い、舞台を使ってお披露されて取り組まれていました。

ところが、新型コロナウイルス禍で活動停止や縮小も減ってきております。原因としては、新型コロナウイルス感染症の影響も大きい要因で、個人の考

え方や趣味が多様化している様子が思われます。これからの日本は、ますます高齢化が進み、フレイルや認知症が懸念されるといわれています。毎日が健康で楽しく生活していくには、何か一つ「張り合い」を持つことが重要です。散歩でも買い物、グルメでも何でもいいです。外出し人と交流したりすること、趣味、興味を持つの場、味を楽しむ場として、皆さん誘い合っておきましょう！活動に参加しましょう！



フラワーアレンジメントは  
楽しい  
フラワーアレンジメント  
クラブ  
森瀬 浩美

季節の行事を彩るアレンジメント、日々の暮らしの中でもお花があると心も落ち着きます。フラワーアレンジメントって何？おもしろい？



フラワーアレンジメントは見るから始めます。何のお花だろうと色や形を見ます。そして香りでも私達の心を優しく包んでくれます。これからでもアレンジメントクラブは、いろいろなことに挑戦していきましょう。花の季節を楽しみます。花の楽しみがからでも楽しんで

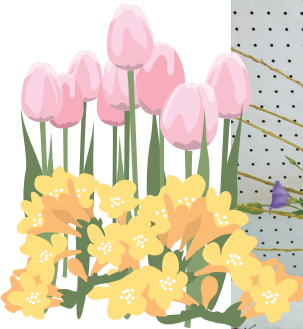


小島 貞子

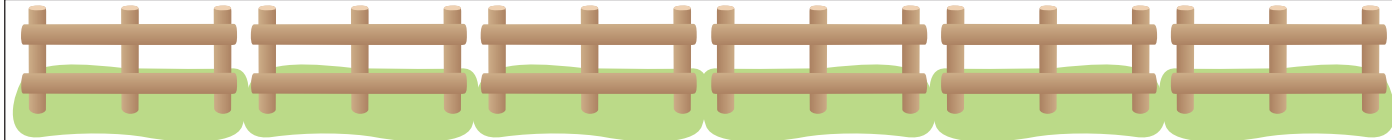


小島 小夜子

めるアレンジ・多様な花材を組み合わせた小さなアレンジ・小さなアレンジでりと自由に入れるのがフラワーアレンジメントです。寄せ植えやリース作りもしたいと思っております。今年度から講師も代わり、新たなクラブになりました。体験コーナーも行っていきます。月一回、第2木曜日 午後1時30分、鷺山公民館和室にて活動させていただきます。



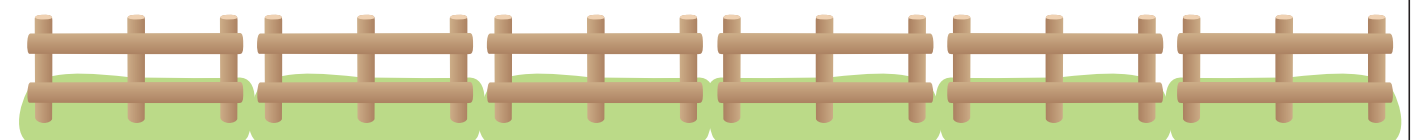
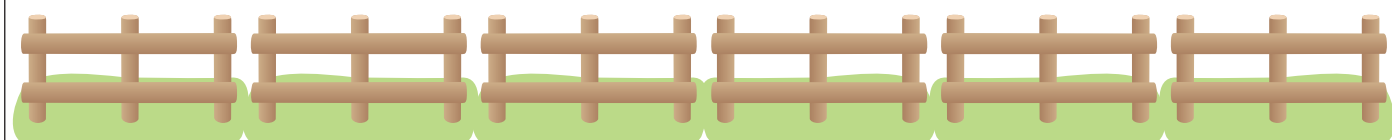
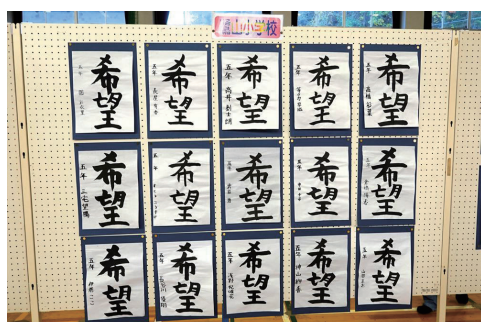
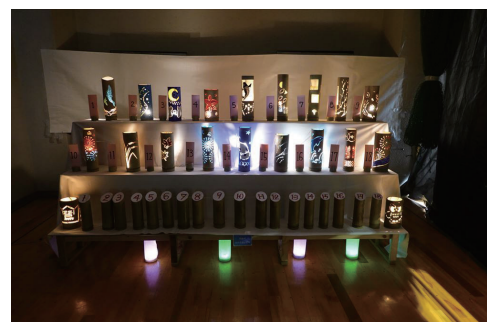
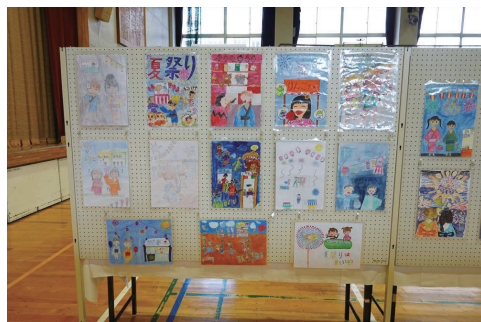
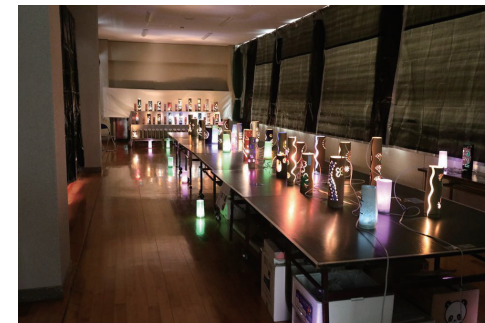
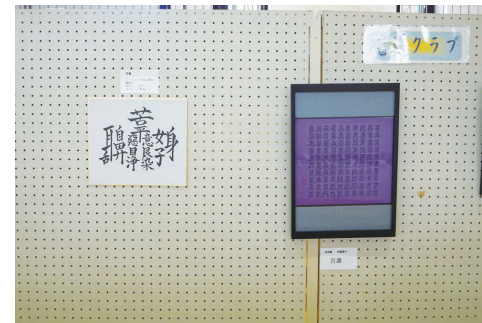




# 鷺山校区文化祭 フォトギャラリー



鷺山校区文化祭の様子は、  
左のQRコードからもご覧になれます。





# 四年ぶりの開催になりました！ 鷺山校区敬老会



# 鷺山の福祉

第70号 発行  
岐阜市社会福祉協議会  
鷺山支部  
Tel 231-0040

令和5年9月18日(祝)に、岐阜市立鷺山小学校体育館にて、鷺山校区敬老会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響や、昨年度の台風上陸の影響を受けて、敬老会の開催は、実に4年ぶりの開催となりました。久々の開催のため、準備や運営に携わる自治会長も初めて携わる方が多く、運営や準備を慎重に進めていきました。なお、この4年間で会場の設備も大きく変わった点があり、体育館には大型の空調設備が整備



された、以前のよう敬老会が熱中症になるリスクが少なく助かる点では、運営上非常には、徒歩で元気に訪れる大先輩が多くお見えになり、4年ぶりの敬老会を楽しみにしてお越しくださいました。会場北側には、『鷺山まちづくり活動グループ』に所属する高校生・大学生ボランティアの皆さんが



んが作成された『人生の大先輩敬老の日おめでとうございませう』感謝と敬意を込めていつまでもお元気でというメッセージの書かれた横断幕も掲げられ、来場された大先輩の皆さんへの感謝と敬意を込めたメッセージが届けられました。敬老会冒頭では、鷺山自治会連合会 水野 吉近 会長から、主催者挨拶があり、連合会長就任してから初めてとなる敬老会で、皆さんへの感謝の言葉が贈られました。

また、敬老会の式典に合せて、今年金婚を迎えるご夫婦への祝いも贈られました。50年間苦楽を共にされこの日を迎えられたことに敬老会を申し上げます。来場者が楽しみにされている



る演芸の部のスタートです。華を添えて頂いたのは、音楽ボランティアグループの『アンサンブルスリアン』の皆さんです。「スリアン」は、フランス語で「笑顔」という意味で、皆さんの演奏が素敵な笑顔を届けてくれました。来場者の皆さんが、若き青春の時代に聞かれた「青い山脈」「中村八大メドレー」「浪花節だよ人生は」「美空ひばりメドレー」などの昭和の名曲が披露されました。

また、演奏の途中では、童謡「うさぎとかめ」のリズムに合わせて、指体操と一緒に取り組み脳トレにも挑戦しました。演奏の最後には「ふるさと」を一緒に歌いました。敬老会最後に、鷺山商店街、正木町発



「あなたの個人情報漏れている」「ウイルス対策費用が必要だから電子マネーで支払を」「還付金の期限が来ているので、今すぐATMで手続きを」

ご協力誠にありがとうございました。







### 大規模災害 発生時に備え 避難所開設訓練

令和5年9月10日(日)に、鷺山小学校にて、鷺山自治会連合会役員を始め、岐阜市派遣職員、校区内の防災関係各種団体関係者を含め合計33名が参加して「避難所開設訓練」を開催しました。今年度の訓練は、大規模地震発生時に鷺山小学校体育館を避難所として開設する際の受付業務の流れを確認することを目的に行いました。



新型コロナウイルス感染症の対策のため避難者の受付業務の流れが変更され、それに伴いどうしたらよいのかを参加者から意見を聞いていきました。避難者カードと本人とをどのように

紐づけていくのか、行政側との情報共有をどうしていくのか、まだ決められていない事項もあり、課題も確認されました。まだまだ試行段階ですが、大規模災害発生時に速やかに対応できるように、今後継続して検証していきたいと考えています。開設訓練終了後、体調不良者を受け入れる避難場所(教室)や校舎内にある災害時備蓄倉庫の確認を行いました。

さらに、鷺山小学校グラウンドにある「災害時(コンテナ)にある「災害時浄水機」の使い方を岐阜市都市防災部にレクチャーをして頂きました。今後も、地域住民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのために、防災・減災のまちづくりに取り組んでいきます。



### 令和6年能登半島地震 救助活動報告会

令和6年3月3日(日)に、鷺山公民館にて令和6年能登半島地震発生直後に取り組みされた岐阜市消防本部の救助活動の概要報告並びにそこから見えてきた今後の防災対策について、岐阜北消防署の山田 俊彦署長から報告を頂きました。

この日の報告会には、鷺山自治会連合会の役員、岐阜市北消防団鷺山分団、鷺山水防団の団員、鷺山女性防火クラブの役員が参加しました。岐阜市消防本部は、令和6年1月1日16時10分に地震が発生した後、速やかに災害現場の救助活動に向かうために様々な資機材、車両の準備を整え、地震発生後1時間30分後には、現地向かって第1陣が発

しました。しかし、目標の救助現場までに向かうためには、半島特有の地形により限られた道路網の中、移動するとを余儀なくされ、その道路自体も地震により被害を受けていたため、移動経路の安全を慎重に確認しながらの移動となりました。リアには、非常に多くの資機材を担ぎながら徒歩によ



岐阜北消防署提供

る移動も行い、厳寒期ということもあり除雪も行いながらの移動となり、通常の移動時間の数倍の時間を要しながら救助現場に向かうことになりました。

被災された家屋の多くが、1階部分が崩れていたり、全壊してしまったり、残っていない状況が確認され、家屋の耐震化の重要性が本当に感じさせられる状況でした。そのような状況の中でも、現地の被災情報、要救助者情報を確認しながら、倒壊家屋からの救出活動を実施されました。今回の災害救助活動を通して山田署長からは「自助」「共助」「公助」を如何にして連携をもつて取り組むことが重要であるのか実感されたとお話を頂きました。また、自助、共助の取り組みとして、大規模災害団



岐阜北消防署提供

員と連携した自主防災活動の推進が、大規模災害発生時の救助に向けて重要になるため、「大規模災害団員と連携した防災訓練」の実施について提案がありました。公助である「消防署」や「警察」「自衛隊」などの救助に駆けつけた皆さんがより迅速に救助活動に取り組むためにも、大規模災害団員と連携して「どの場所」で「何名の要救助者」が発生しているのか把握し、その情報をいち早く届けることが重要になるため、情報収集訓練の必要性について、お話がありました。今後、鷺山校区自主防災隊の防災訓練・安否確認訓練についても、ブラッシュアップに向けて非常に参加となりました。

